



2022年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2021年 11月 4日

株式会社いなげや
代表取締役社長 本杉吉員



● 小売事業

スーパーマーケット事業



(株)いなげや

132店舗
(△1)

ドラッグストア事業



(株)ウェルパーク

137店舗
(+1)

小売事業
総店舗数

269店舗
(△8)

2021.9月末時点
(加)は前期末との増減

(株)三浦屋は、2021年8月1日をもって株式譲渡しております

● 小売支援事業



株式会社 サーフドジャパン

(株)サンフードジャパン

食品卸し・食品製造



(株)サビア
コーポレーション

施設管理・警備

INAGEYA
WING

(株)いなげやウィング

特例子会社（障がい者雇用）

いなげや
ドリームファーム

(株)いなげや
ドリームファーム

農業事業

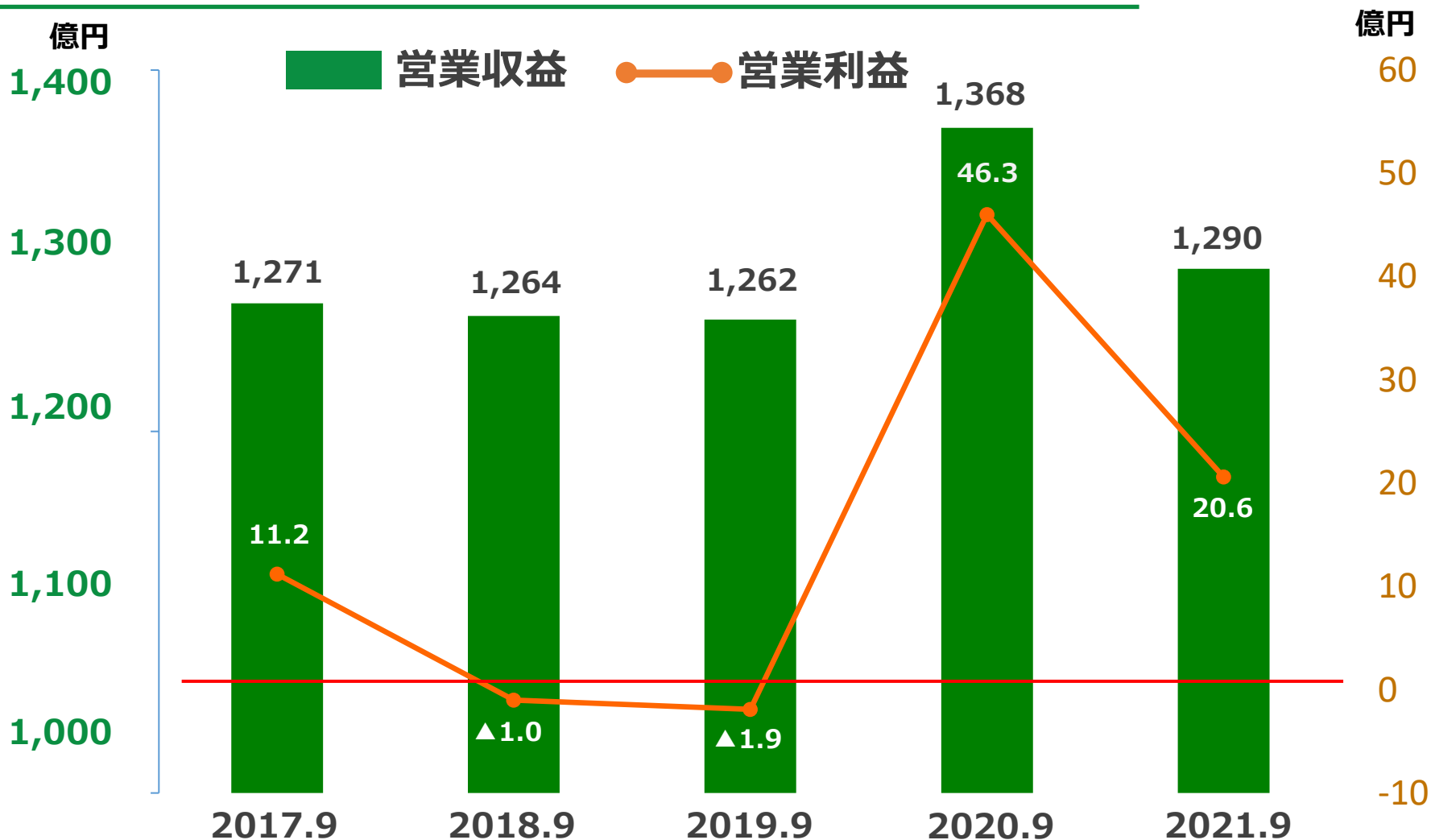
連結経営成績



	前期2Q累計 (億円)	当期2Q累計 (億円)	前年比 (%)	増減 (億円)
営業収益	1,368	1,290	94.3	△ 77
営業利益	46	20	44.6	△ 25
経常利益	47	22	46.6	△ 25
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31	16	52.4	△ 15

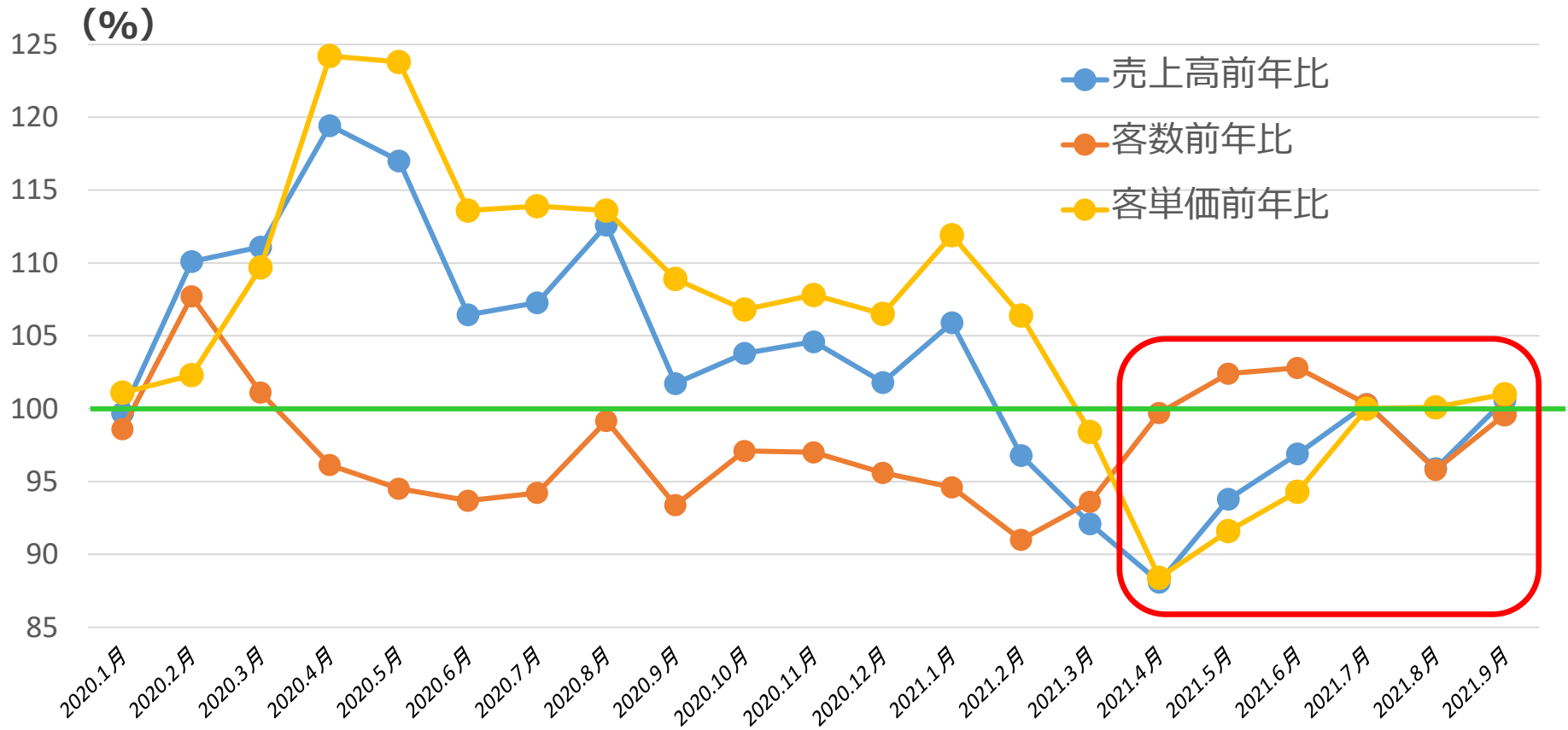
	前年度末 (億円)	当2Q末 (億円)	増減額 (億円)	キャッシュ・フローの状況 (億円)
純資産 (自己資本比率)	555 (55.0%)	567 (57.8%)	+ 12 (+2.8P)	営業C F 28
				投資C F △ 15
				財務C F △ 19
総資産	990	963	△ 27	現金・現金同等物 期中増減額 △ 6

連結 5期推移




来店頻度の増加でまとめ買い需要が低下し減収減益

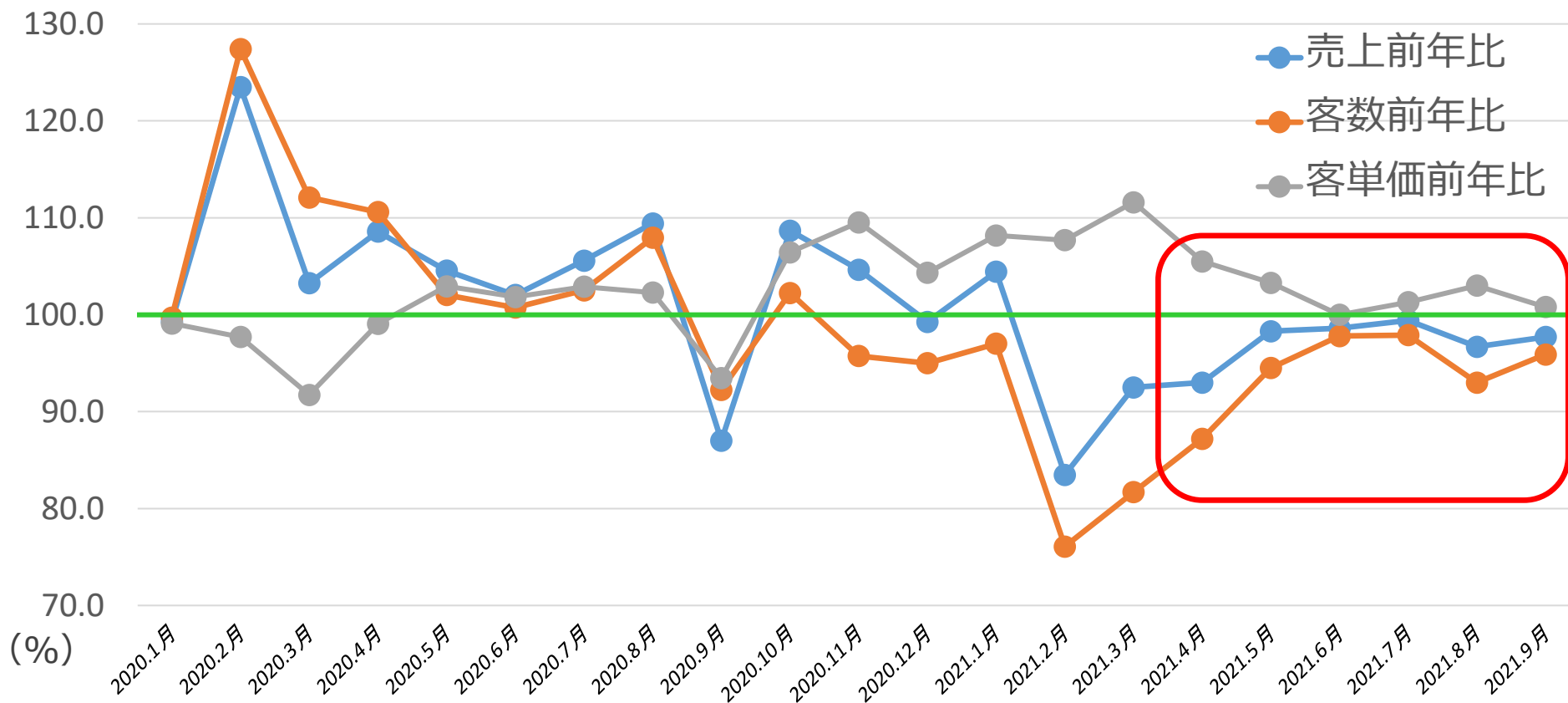
	2020.9	2021.9			要因
	実績 (億円)	実績 (億円)	前年比 (%)	前々年比 (%)	
売上高	1,050	990	94.3	104.3	価格対応で客数は回復するも客単価の減少で売上高は減少
営業総利益	349	327	93.8	105.6	売上高の減少や、利益率の低下もあり、荒利額が減少
販管費	310	313	101.0	98.6	人件費は減少したものの販促の強化で販促費が増加
営業利益	39	14	36.3	—	売上高の反動減を経費で補えず減益



2021.4～6月 … 売上が反動減するも、客数が回復
 2021.7～9月 … 緊急事態宣言や野菜相場高もあり、客単価は前期並み



	2020.9	2021.9			要因
	実績 (億円)	実績 (億円)	前年比 (%)	前々年比 (%)	
売上高	223	217	97.3	99.7	食品強化や新店改装を行うも 反動減を補えず減収
営業総利益	64	61	96.7	100.1	調剤が収益改善するも、 売上高の減少で荒利額が減少
販管費	59	57	96.6	99.9	自動発注全店導入など作業改善 が奏功し、人件費を抑制
営業利益	4	4	98.1	103.1	販管費を抑制するも、 減収を補えず減益



2021.4～5月 …売上・客数が反動減するも、客単価は上昇
 2021.8～9月 …ポイント施策を行うも伸び悩む



設備投資 (キャッシュフローベース) リース資産含まず		新店	改装店	その他	合計
	スーパーマーケット事業 (億円)	8	4	19	31
	ドラッグストア事業 (億円)	5	1	1	7
	小売事業計 (億円)	13	5	20	38

新店投資

いなげや

下期 1店舗

ウェルパーク

上期 2店舗
下期 5店舗

その他投資

- 各店投資（活性化対応）
- 情報システム
 セミセルフレジ導入
 管理系システム更新 他

売上高		売上高（億円）	前期比増減
	スーパーマーケット事業	2,024	△4.4%
	ドラッグストア事業	460	6.1%
	小売事業計	2,484	△2.6%

利益率		営業利益率
	スーパーマーケット事業	1.2%
	ドラッグストア事業	2.4%
	小売事業計	1.4%

連結	金額 (億円)	前期比 増減(%)	増減 (億円)	当期2Q 時点 (2021.4~9月) 進捗状況(%)
営業収益	2,600	△2.2	△ 59	49.6%
営業利益	40	△42.7	△ 29	51.7%
経常利益	42	△42.4	△ 30	52.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	△51.5	△ 21	82.6%

注) 新型コロナウイルスの感染拡大について、現時点において当社グループが把握している情報を基に算出しております。新型コロナウイルスの収束時期等により、当予想は変動する可能性があるため、業績動向を踏まえて修正がある場合には、速やかに開示致します。

◆ グループ社是 （経営方針）

いなげやグループは販売を通じ広く世の中に奉仕し会社の発展と従業員の幸せを常に一致せしむる事をもって社是とする。

◆ グループ経営理念 （目指す姿）

～すこやけくの実現～

お客様の健康で豊かな、暖かい日常生活と、より健全な社会の実現に貢献する。

～商人道の実践～

お客様のお喜びを、自分自身の喜びとして感じる事ができる人間集団。

◆ グループビジョン （存在意義）

“地域のお役立ち業”として社会に貢献する

※地域社会のお役に立つことが存在している意義である

2020~22年度 グループ中期3カ年経営計画

テーマ “グループの組織力と収益力の強化”

1. スーパーマーケット事業
 - 既存店の再構築による安定した事業基盤の確立
2. ドラッグストア事業
 - 出店地域での商圈シェアの拡大
3. 商流・物流の再構築
 - グループの仕入れ集約に向けて課題の整理
4. 新たな競争力の創造
 - グループ資源を活用した販売チャネルの多様化
5. いなげやグループの成長を支える人財の育成
 - “すこやけく創造塾”
6. グループガバナンス体制の確立
 - “いなげやグループコンプライアンス委員会”

最終年度 数値目標
(2023年3月期)

グループ連結 売上高
2,611億円

グループ連結 営業利益
54億円

グループ連結 純利益
33億円

1. スーパーマーケット事業

- 既存店の再構築による安定した事業基盤の確立

新店 上期 **0**店舗 (前年1)

下期計画 **1**店舗 (前年0)

閉店 上期 **1**店舗 (前年0)

改装

上期 **6**店舗 (前年1)

入間春日町店、小平回田店、国分寺西恋ヶ窪店、松伏店、あきる野北伊奈店、八王子中野店

下期計画 **5**店舗 (前年7)



青果 (特設売場で価格訴求)



鮮魚 (鮮魚寿司)



惣菜 (鉄板メニュー)

2. ドラッグストア事業

- 出店地域での商圈シェアの拡大

新店

上期 **2**店舗 (前年2)

下期計画 **5**店舗 (前年2)

八王子八日町店、他

閉店

上期 **1**店舗 (前年2)

改装 (小改造含む)

上期 **17**店舗 (前年5)

桜新町店、東葛西店、東日暮里一丁目店、
調剤薬局三鷹牟礼店、他

下期計画 **6**店舗 (前年6)



八王子中野山王店 (21.7.21 オープン)



福生加美平店 (21.7.30 オープン)



八王子八日町店 (21.10.27 オープン)

3. 商流・物流の再構築

- グループの仕入れ集約に向けて課題の整理

(株)三浦屋 食品センター ⇒ (株)サンフードジャパンが継承

- ・惣菜製造機能（煮る・焼く・蒸す・揚げる 等々）
- ・精肉センター、鮮魚センターと同一敷地内

⇒ 惣菜強化に向けて再構築



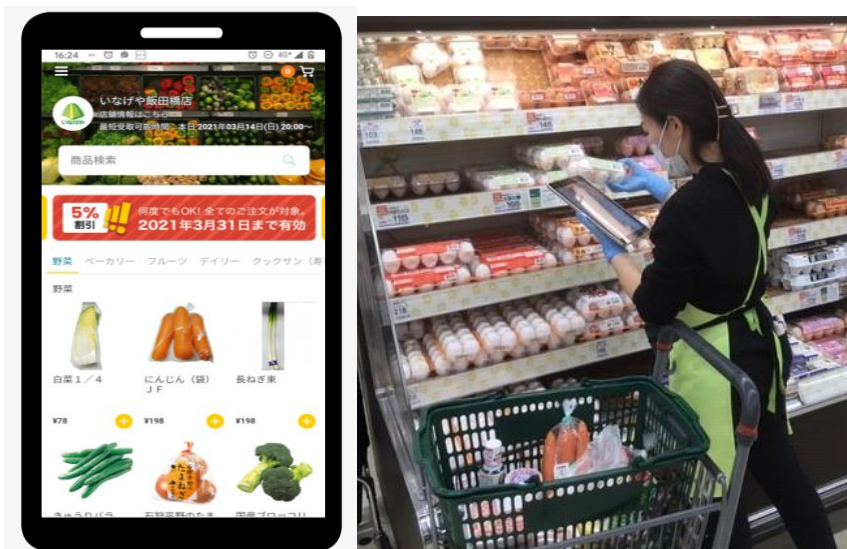
4. 新たな競争力の創造

- グループ資源を活用した販売チャネルの多様化

ネットとリアルとの融合

- ・ネットスーパー
- ・移動スーパーとくし丸

⇒ エリア拡大中
ドミナントの充実へ



店舗にて商品をピックアップ



とくし丸ドライバーの皆さん

5. グループの成長を支える人財の育成

●“すこやけく創造塾”

社是、経営理念の全従業員への浸透

… 理念経営の重要性を周知させ、浸透を図る

組織を正しく導けるリーダーの育成

… 全方位の教育、研修体系の構築を図る



会社の歴史・理念を継承(史料室)



外部講師による研修



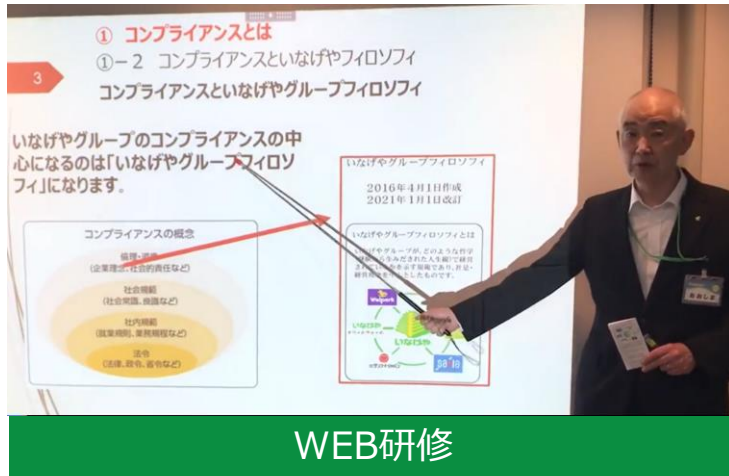
部門別研修(研修センター)

6. グループガバナンス体制の確立

- “いなげやグループコンプライアンス委員会”

階層別の啓蒙活動

- ・ 新入社員 … “社会人として必要なコンプライアンス知識”
- ・ 店舗担当者 … “パワハラ・セクハラの基本知識と基礎認識”
- ・ 管理職 … “管理職として必要なコンプライアンス経営の考え方”
- ・ 経営幹部 … 外部講師による “最新のコンプライアンス事案” 等々



職場の基本ルールを遵守します。

- ・ 勤怠ルール
- ・ 買い物ルール
- ・ 衛生管理
- ・ 食品表示
- ・ 金銭管理

10月はコンプライアンス強化月間
2021年10月1日(金)~10月31日(日)

コンプライアンス活動下期の予定

- 11月下旬にいなげやグループ全従業員対象のwebによるコンプライアンス意識調査アンケートを実施します。
- コンプライアンスリーダー制を導入しコンプライアンスの浸透を図り不正、ハラスメントのない働きやすい職場を作ります。

グループビジョンの実現に向けて

- “SDGs 推進委員会”

中計に基づく“4つの重要課題”とSDGsに基づく“4つの約束”の実行により 「実現する社会・企業のあるべき姿」を定義します

重要課題 安定した
事業基盤の構築

約束 安心と安全を
お届けします

地域のお役立ち業として、
社会インフラの使命として、
従業員にとってもお客様にとっても
安心・安全な商品とサービスを
安定供給します。

重要課題 商流・物流の再構築
によるムダの削減

約束 地球の環境を
守ります

商流・物流を再構築し、
バリューチェーン全体で、
商品・原材料・
エネルギーのムダを
なくします。

重要課題 未来に繋がる
人創り

約束 人を大切に
します

一人ひとりの個性や価値観を尊重し、
お互いの力を最大限に活かせる
ように、女性・次世代の若者・高齢者・
障がい者など多様な従業員が
活躍できる環境を整えます。

重要課題 新たな競争力の
創造

約束 成長し
続けます

地域のお役立ち業として、
新たな競争力を
創造し、お客様にとって
利便性のよいサービスを
提供します。



ペットボトルリサイクル（物流活用）



植樹活動（すこやけくの森）



農業研修（いなげやドリームファーム）



この資料には、現在の計画や業績見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約・保証するものではありません。